

翌日は朝より黙語と素空とは寫生に出かけおのれは明神社よりそのわたりの町のさまを見歩く、午時おのゝ歸り、二人が寫生せる水彩畫を床の上に並べおきしに、例の尻太女遠ながら見やりて、アンタ方は色入寫真をなさるゝお客ですかといふ、これ見よと手にわたせば、つく／＼と打見て、變てすな汚いもの一向に褒めず、黙語しからばとて、有りあふ紙に彼女の顔を畫きて、これいかにと示せば、打見るよりカラ／＼と大笑してやがて奥さまに持ちゆく、これを初としてこの日は更る／＼出て來て顔かきてよとせまるに、黙語筆の命毛もたゝんとす（藤園氏木曾日記の一節、黙語とは故淺井忠氏の雅號なり）

ツルゲネーフがヅラに送つた手紙に「例の繪が出来上つたから見に來てくれ給へ」と云ふ文句がある。大分繪が御自慢であつたと見える。彼れの作に接したものにはいかさまと肯かれる（早稻田文學、文藝小話）

衛生新報に娛樂の要件十個條として左の種類が擧げてある、そして其要件に各種の娛樂を一々配當して見ると、其適否の鑑別が容易に出來るといふてゐる。

第一 娛樂は精神の慰安に適すべきもの

第二 高尚にして優美なるもの

第三 危険の恐れなきもの

第四 衛生に適し且つ健康を増進するもの

第五 多額の費用を要せざるもの

第六 單獨にても樂しみ得るもの

第七 衆人と共に樂しみ得るもの

第八 實行簡易にして習得し易きもの

第九 場所を選まず設備を要せざるもの

第十 優柔に流れず風紀を害せざるもの

世の中に娛樂の種類は頗る多いが、右の條件に抵觸しないものは繪畫と音樂位ひのものである、併し音樂は上手になつたら知らぬこと、稽古中は頗る他人に迷惑をかけるものだから、繪畫が一番よいのであるが、繪畫でも油繪ではアノテレビンの臭氣で他人を苦しめるから、結局は水彩畫が一番よく、以上の條件に適してゐるやうである。

黄金は眩迷すべき悪臭を帯べる妖光を發す、一たび畫家の純潔なる理想を蔽ふことあらば、音に畫家の崇高なる「自己」の凱旋を轉じて敗北の訃音たらしむるのみならず、技術上にも不滅の汚點を塗抹するに到るべし

サー、フレデリック、レートン